みどりの食料システム戦略

令和5年11月作成
北海道農政事務所札幌地域拠点

高校生から中学生へ伝える、SDGsと私たちの「食」を守る意識
～みどりの食料システム戦略出前授業～
北海道岩見沢農業高等学校　食品科学科　農食地域交流専攻班



【学校の概要】

- 名称：北海道岩見沢農業高等学校
- 設立：明治40年
- 生徒数：約640人
- 学科：農業科学科、畜産科学科、食品科学科、生活科学科、農業土木工学科、環境造園科、森林科学科
- 所在地：北海道岩見沢市並木町1番地5
- 問合せ：℡0126-22-0130
- URL：http://www.iwamizawanougyou.hokkaido-c.ed.jp/

【取組の経緯と概要】

- **食品科学科では、高校生が学んだことを地域の子供たちに還元することを目的として、小学生を対象にした食育活動「岩農食農塾」を平成24年から開催。**
- **年間10回の講義は高校生が行い、テキストも準備。**
- **講義は水稲の播種から稲刈り、脱穀、精米ののち試食まで行うほか、パン・アイスクリーム作り等の加工実習、農業者等と連携した社会見学を実施。**
- **10年を経過し、令和5年3月に北海道農政事務所による「みどりの食料システム戦略出前授業」受講を機に、中学生対象の新たな出前授業を企画。**



【北海道農政事務所による出前授業を受講】

◇【取り組む際に生じた課題と対応方法】

◆　中学生向けの説明スライドと読み上げ原稿を準備したが、伝えたい項目をすべて入れるとボリュームが増え難解な内容となってしまう。
⇒中学生の将来像や身近な食べ物を取り上げ、親しみやすい話題でアプローチ。

◆　説明のみで授業時間が終わってしまう。
⇒設問を穴埋めするテキストを用意。高校生が巡回して進捗状況を確認し、個別にフォローアップ。


【巡回指導中の生徒】

【取組の成果（令和5年11月時点）】

- 岩見沢市立明成中学校よりSDGsについて授業の要望があったことから、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標であるSDGsと、2050年までに食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現をめざす「みどりの食料システム戦略」を組み合わせた授業を提案し、令和5年9月6日、1校目の出前授業として約140名に実施。
- 岩見沢市立栗沢中学校は、教諭が1校目の出前授業を観覧したのをきっかけに授業実施の機運が高まり、2校目の出前授業として令和5年9月27日、35名に実施。



【1校目：明成中学校】【2校目：栗沢中学校】

【今後の展望】

◆スライド・テキストの進化
テキストや授業の進め方の改善は、事前打ち合わせした中学校の助言によるところが大きいため、今後も出前授業先の市内中学校を探し、中学校側の規模や要望に合わせた授業を行う予定。